

2009年4月1日
アイエヌジー投信株式会社

『リップパー・ファンド・アワード・ジャパン 2009』最優秀ファンド賞 受賞

アイエヌジー投信株式会社(本社: 東京都千代田区)が設定運用するファンドが、『リップパー・ファンド・アワード・ジャパン2009』において「最優秀ファンド」賞を受賞しました。

この度受賞したファンドは、「アイエヌジー・日本債券オープン【愛称: ヨール・ファンド】」で、同ファンドは債券型日本円分類(評価期間3年)において同賞を受賞しております。

投資信託 評価期間3年

分類名	賞	ファンド名	ファンド愛称	運用会社
債券型日本円	最優秀ファンド賞	アイエヌジー・日本債券オープン	ヨール・ファンド	アイエヌジー投信株式会社

アイエヌジー・日本債券オープン (愛称:ヨール・ファンド)

日本経済新聞掲載名: 日本債券

ファンドの特色

1. 日本国債を中心に投資

「アイエヌジー・日本債券マザーファンド」を通じて、主に日本国債に投資します。少数銘柄に偏ることなく分散投資に留意し、安定した収益(インカム・ゲイン)の確保と信託財産の着実な成長を目指します。

2. 格付を重視

金融債、社債に投資する場合には格付を重視し、原則として投資適格債(BBB 格以上)に投資し、ファンドの平均格付を A 格以上に維持します。

3. ベンチマーク

シティグループ日本国債インデックス



リップパー・ファンド・アワード・ジャパン2009授賞式 ポール・ヴァン・エインダ社長兼CEO(写真左)

[ファンドアワードについて]

「リップパー・ファンド・アワード・ジャパン2009」は、世界21都市で開催している「Lipper Fund Awards」プログラムの一環として行われ、日本において販売登録されている国内および外国籍ファンドを対象に、優れたファンドとその運用会社を選定し、表彰するものです。選定/評価に際しては、リップパー独自の投資信託評価システム「リップパー・リーダー・レーティング・システム(リップパー・リーダーズ)」の中の「コンシスタント・リターン(収益一貫性)」を用いています。

*2009年の開催国/都市: スイス、マレーシア、スペイン、オーストリア、インド、オランダ、タイ、ドイツ、シンガポール、香港、英国、イタリア、フランス、日本、台湾、ルクセンブルグ、中国、スウェーデン、バーレーン、米国、カナダ(開催順)

[評価方法について]

①最優秀ファンド評価方法

- ・ 評価対象ファンドは、日本において販売されている投資信託のうち、2008年末時点で36カ月以上の運用実績のあるファンドと致します。
- ・ リップパー独自のファンド分類を用い、1つの分類に上記該当ファンドが5本以上存在するすべての分類(「その他セクター」分類、「機関投資家専用」分類、「DC(確定拠出型年金)専用ファンド」を除く)を評価対象と致します。
- ・ 評価期間は3年間、5年間、及び 10年間とし、リップパーのファンド評価方法『リップパー・リーダーズ(Lipper Leaders)』で採用している「収益一貫性(Consistent Return)」と同様の評価を行い、各分類の最優秀ファンドを選出致します。

[ディスクレイマー]

リップパー・ファンド・アワードに関する情報及びリップパーが提供する情報は、投資信託の売買を推奨するものではありません。

投資の選択は、必ずご自身の判断でなさるようお願いいたします。リップパーにより提供される情報は、リップパーが信頼できると判断した出所からのデータ・情報に基づきますが、その正確性、完全性等について保証するものではありません。過去のパフォーマンスは将来の結果を保証するものではないことに御留意下さい。

お客様にご負担いただく費用

お客様に直接ご負担いただく費用	保有期間中に間接的にご負担いただく費用
<p>申込手数料</p> <p>お申込日の基準価額に対して上限0.525%（税抜き0.500%）を乗じた額とします。（注）</p> <p>※＜自動けいぞく投資コース＞を選択された受益者が収益分配金を再投資する場合は無手数料とします。</p> <p>（注）販売会社（清水銀行）までお問い合わせ下さい。</p>	<p>信託報酬</p> <p>保有している期間の純資産総額に対し年率0.5775%（税抜き0.550%）。</p> <p>その他の費用</p> <p>監査報酬、有価証券等の売買にかかる手数料、資産を外国で保管する場合の費用等をご負担いただきます。（その他費用については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことはできません。）</p>

主なリスクおよび留意点

当ファンドは、主として「アイエヌジー・日本債券マザーファンド」を通じて、値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって投資元本が保証されているものではなく、これを割込むこともあります。ファンドの投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。

下記は、主なリスクおよび留意点であり、当ファンドに係るすべてのリスクを網羅しているわけではありません。詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）でご確認ください。

○価格変動リスク

株式や債券等の有価証券は経済動向、市況動向および企業の意思決定等によりその価格が変動します。特に、成長性の高い企業や成長性の高い業種については価格変動リスクが大きくなる傾向があります。

○金利リスク

一般的に金利が上昇した場合には債券価格が下落します。債券を保有している場合、ファンドの基準価額を下げる要因になります。

○信用リスク

株式や債券等の発行企業等が債務不履行になった場合、当該企業等の株式や債券等の価格は大きく値下がりし、または、全く価値のないものになる可能性があります。発行企業の倒産、財務状況・信用状況の悪化等の影響により有価証券の価格が下落するとファンドの基準価額の下落要因になります。

○流動性リスク

株式や債券等の有価証券を売買する場合、その相手方が存在しなければ取引が成立しません。特に、発行量の少ない場合や、多くの有価証券が長期保有の意思をもって保有されており流通量が少ない場合等、ファンドが最適と考えるタイミングで売買できない可能性があります。この場合、享受できるべき値上がり益が少なくなったり、または、被る損失が増加したりする可能性があります。

○カントリーリスク

一般に有価証券への投資は、その国の政治経済情勢、通貨規制、資本規制、税制等の要因によって影響を受けます。そのため、投資対象有価証券の発行国の政治、経済、社会情勢等の変化により、金融・資本市場が混乱し、資産価値が大きく変動することがあります。

○解約資金の流出に伴うリスク

大量の解約資金を手当てするために保有有価証券等を売却する場合、ファンドの基準価額に影響を与える場合があります。

○換金性が制限される場合

通常と異なる状況において、ご換金に制限を設けることがあります。取引所における取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、ご換金の申込みの受け付けを中止することがあります。

アイエヌジー投信株式会社について

アイエヌジー投信株式会社は、オランダ生まれの世界的総合金融機関であるINGグループの一員として世界30カ国以上に拠点を構えグローバルに業務を展開する、ING インベストメント・マネジメントの日本における運用拠点です。ING インベストメント・マネジメントの運用商品を日本国内にて公募・私募投資信託として設定し、日本の投資家の皆様へお届けすることを目的に、1999年9月に設立されました。投資信託の委託会社としての業務や、グループ内や機関投資家向けに、投資一任契約に係る業務、投資助言業務を行っています。

商号: アイエヌジー投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第300号

加入協会: (社)投資信託協会 (社)日本証券投資顧問業協会 日本証券業協会